

籠の鳥

【作詩】千野かほる
【作曲】鳥取春陽

- 1 あいたさ見たさに　こわさを忘れ
　　暗い夜道をただ一人
- 2 あいに来たのに　なぜ出てあわぬ
　　僕の呼ぶ声わすれたか
- 3 あなたの呼ぶ声　わすれはせぬが
　　出るに知られぬ籠の鳥
- 4 籠の鳥でも　智恵ある鳥は
　　人目忍んであいに来る
- 5 人目忍べば　世間の人
　　怪しい女と指ささん
- 6 怪しい女と　指さされても
　　真心こめた仲じゃもの
- 7 指をささりよと　おそれはせぬが
　　妾（わたし）や出られぬ籠の鳥
- 8 世間の人よ　笑わば笑え
　　共に恋した仲じゃもの
- 9 共に恋した　二人が仲も
　　今は逢うさえままならぬ
- 10 ままにならぬは　浮世の定め
　　無理に逢うのが恋じゃもの



籠の鳥

1 あいたさ見たさに

こわさを忘れ
暗い夜道をただ一人

2 あいに来たのに

なぜ出てあわぬ
僕の呼ぶ声わすれたか

3 あなたの呼ぶ声

わすれはせぬが
出るにすらぬ籠の鳥

籠の鳥

4 籠の鳥でも

智恵ある鳥は

人目忍んであいに来る

5 人目忍べば

世間の人が

怪しい女と指やわかん

6 怪しい女と

指やわねても

真心こめた仲じやもの

籠の鳥

7 指をむきむらよと

3/4

おそれはせぬが

妾（わたし）ゃ出られ

ぬ籠の鳥

8 世間の人よ笑わば笑え
共に恋した仲じゃもの

9 共に恋した二人が仲も
今は逢うさえ

ままならぬ

籠の鳥

10

ままにならぬは

浮世の定め

無理に逢うのが恋じやもの

4 / 4

END